

総務常任委員会報告書

令和元年12月18日

委員長 清原 哲史

12月6日に総務常任委員会を開催し、執行部より報告を受けた事項について概要を報告します。

【人事課】

<報告事項> 職員採用試験、古賀市健康文化施設クロスパルこがの指定管理者再募集について

<質疑及び回答> 指定管理者を再募集するとのことであるが、申請業者がいなかった場合、あるいは現行の業者しかいなかった場合はどうするのかとの問いに、現指定管理者しかいなかった場合でも再度ヒアリングを行い古賀市がやっていただきたい運営ができるかの選定をする。もし決まらなかった場合は、直営で委託するという方法もあるとのこと。

募集要項は、従前のものと変更はあるのかとの問いに、維持修繕等の費用の配分、いくら以上は市が持つ、それ以下であれば指定管理者が維持補修をするというリスク配分等を変えているとのこと。

再度募集に至ったということは、指定管理者制度を今後も更新していくのかとの問いに、指定管理者制度を活用しながら運営していくという方針を決定したとのこと。

【総務課】

<報告事項> 令和元年度「個別避難支援計画策定促進事業」及び「避難所運営研修・訓練」連携事業について

<質疑及び回答> 花鶴丘3丁目の避難訓練では、1日目に災害図上訓練とあるが、避難ルートや防災マップを使ったものになるのかとの問いに、図上訓練の内容については、実施主体の福岡県と福祉課が調整しながら検討していくことになるが、一般的な図上訓練に言えば、市の総合防災マップ、花鶴丘3丁目の地図に危険箇所を落とし込んだものを使用すること。

今回、県から大根川の洪水などの表記が変わると聞いているが、花鶴丘3丁目の地域内にどう影響するのかとの問いに、大根川の浸水想定に関しては、本年5月末に県から新たなものが想定されているので、変更になったものを使っていくことになるとのこと。

以上で報告を終わります。